

令和 6 年 11 月定例記者会見 市長原稿(要旨)

本日の情報提供を前に、現在、国において検討が進められている、所得税がかかり始めるいわゆる「103 万円の壁」に関し、本市での影響額を試算しましたのでお知らせいたします。

本市では、非課税枠が 178 万円に引き上げられたと仮定した場合の影響として、約 14 億円の減収になる見込みと試算しました。

現時点では、本日・11 月 29 日に行われる国会の所信表明において、石破総理が来年度の税制改正の中で議論し、引き上げることを表明する方向との報道があることも承知しております。

一方、現段階では、引き上げの全容が確定していないことから、この引き上げによる影響の大きさは未知数ではありますが、実際に行われた場合には、様々な懸案事項もあると認識しております。

そのため、引き続き、国の動向を注視し、影響を見極めていく必要があると考えているところです。

それでは、本日の情報提供に入ります。

まずはじめに、「旧城南中学校の跡地活用、優先交渉権者決定」の情報提供です。

令和4年3月に閉校した旧城南中学校は、閉校後には、ドラマのロケ地などとして活用を続けてまいりましたが、活用と並行し、「定住人口・交流人口の増加」「にぎわいの創出」などを目的とする跡地活用を検討してきたところです。

跡地活用策に関しては、公募型プロポーザル方式により広く提案を募集したところ 3 者からご提案をいただきました。

プロポーザル選定委員会において、各者からの提案を慎重審議いただいた結

果、大和ハウス工業株式会社茨城支店様を優先交渉権者として選定され、本市が決定しました。

選定委員会からは、大和ハウス工業株式会社茨城支店様の提案は、複業商業施設で、スーパーマーケットを中心とする物販施設、ボルダリングを含めたサービス施設が含まれており、本市が進める「スポーツクライミングのまち」の方針にも合致するという答申をいただいております。

今後、詳細な事業内容を決めていく流れとなりますが、市民の利便性向上や雇用創出、近隣エリアからの交流人口獲得に繋がる提案であると考えております。

そして、龍ヶ崎が元気になるため、さらには「住み続けたいまち」につながっていくことを期待している取り組みのひとつであることから、事業者と連携し、地域のにぎわい創出につなげてまいりたいと考えているところです。

次に、市内にあります「大相撲・式秀部屋への地元食材の差し入れ」に関する情報提供です。

市内佐貫の大相撲・式秀部屋に龍ヶ崎市の地元食材の差し入れを 12 月 19 日・木曜日に行います。

この差し入れは、力士たちのパワーに変えていただきたい、そんな願いを込め、平成 24 年度から続く恒例行事となっており、今回も地元生産者が丹精込めて育てたお米や新鮮野菜、地元精肉店推奨のお肉などをたっぷりとお届けする予定となっております。

現在、14 名の力士が在籍している式秀部屋は、県内 2 ヶ所しかない、相撲部屋のひとつであり、本市の地域資源のひとつです。

相撲部屋がある街として、国技である相撲をこの地から盛り上げるべく、今回の差し入れを通じ、「龍ヶ崎市の式秀部屋」を食の分野からも応援することで、力に変え、白星につなげていただければと願っております。